

傑作新聞

7月号

日曜日

■ 発行所：マスターピース・グループ(株)
 ■ 発行者：人事総務部 佐藤 大輔
 ■ 連絡先：0120-814455

—海外OS最前線—

「法務オフィショア」

アウトソーシング

海外アウトソーシングの最前線の事例を紹介していく。これもアウトソーシング!?。今回は、法務オフィショアアウトソーシングというビジネスモデルを紹介。専門的な知識を必要とする業務のひとつに法務がある。グローバル環境で活躍する企業が相手国の法律に疎くは命取りだが、厳しい経済状況の中、国際的な法務専門家を抱えておくのは経費が掛かりすぎる。法務のオフィショアアウトソーシングもこの考えから生まれたのであろう。

Pangea 3では、アメリカやイギリス、日本の企業や法律事務所から、企業法、知的所有権・許諾訴訟サービス、法律研究などのアウトソーシングを受託しているが、最大の特徴は、アメリカ・ニューヨークとインド・ムンバイに拠点を置いて、大量の法務専門家が法務を処理しているという点だ。電話、FAX、メールなどの方法でコンタクトできる他、ニューヨークのオフィスに直接依頼相談することもある。

知的所有権など専門性の高い業務でも、Pangea 3はその十年に及び経験と、エンジニアリングや生物工学、医学などの専門的知識を持った人材を使い、特許権取得の書類作成、解析をすることが出来る。

また、訴訟において必要な情報の収集もする。たとえば、訴訟相手会社の基礎情報、法律事務所、過去の訴訟履歴など、戦うにあたって必要な情報を提供してくれるのだ。

法務アウトソーシングで一番の利点となるのがその費用の安さだ。アメリカで業務を行うと1時間あたり150〜350ドルかかるところを、Pangea 3が0.4年にこの業務を始め当初は1時間40ドルだった。07年には60〜100ドルになったものの、アメリカ本土で委託するよりは断然に安い。

もうひとつの利点として挙げられるのは、その早さで、一般的な法律事務所に依頼して1週間ほどかかる業務を2日で済ますこともある。

インドは、85万人以上の弁護士が居り、300を超える法科カレッジから毎年何万人もの卒業生を輩出する。

実質的な標準語は英語で、世界最大の資本主義・民主主義国。インドでの法務アウトソーシングはまだ拡大しそうだ。

■ 文責：09年新卒/尾立

記事元:

Pangea 3

[\(http://www.pangea3.com/\)](http://www.pangea3.com/)

The Hindu Business Line

<http://www.thehindubusinessline.com/2006/10/10/stories/20061010100500.htm>

The Economic Times

<http://economictimes.indiatimes.com/>

お客様からの声今後もお待ちしております!

お客様から喜びの声を頂くこと程私たちに仕事のやりがいを与えてくれるものはありません。どんなことでも結構です。ぜひ貴方様のお声をお聞かせ下さい。
 TEL・FAX・ホームページ、どちらからでも結構です。

大連事情

「日本食は大連に在り!?!」

大連は、日本語教育が非常に盛んで、中国国内でも特に日系企業が数多く進出し、日本に對して友好的なことも手伝ってか日本人が多く生活している土地である。

「タクシーの運転手もこちらが日本人だと気づくと日本語で挨拶してくれたり、日本の音楽を流してくれたり(ある時は歌ってくれたり・・・)」と、日々の生活の中でも日本の文化が広く知れ渡っている実感するところしばしばだ。

「食は中国に在り」という言葉は有名だが、今回はそんな大連の食事情を中華とは違った目線で紹介したい。

まず、大連の町の中には数多くの本格的な日本人向け料理店が軒を連ねている。

日本の居酒屋甲子園でも入賞した居酒屋や、本場博多にも店舗を構えるモツなべ屋を初め、焼き鳥、定食屋、はたまた日本人好みの本格インド

カレーまで! ありとあらゆるジャンルの食事を楽しむことができる。

また、本場中国で?と思われれるかもしれないが、日本でアレンジされたいわゆる「中国の食べ物」とされるものが、逆輸入されていることも少なくない。

「水餃子」が一般的な大連では「焼き餃子」を出す店は珍しいが、「餃子の王将」は日本人のみならず中国人にも好評の店である。ラーメンも日式ラーメン(日本風ラーメン)が大人気で、今やラーメンと言えば日本風ラーメンが一般的となっている。

大連名物の海鮮料理はもちろんだが、私はこれらの日本料理屋も大連の魅力の一つだと感じている。

中国の料理が合わないと感じていらつしやるお客様も、大連センターを視察されに来た際は是非一度大連の日本食を召し上がってみていただきたい。きっと大連の新たな一面を発見していただけるでしょう。

■文責:大連センター / 吉田

マスターピースのお仕事紹介

中国語対応のコンタクトセンター業務

中国語対応のコンタクトセンター業務

最近、中国から日本へ観光にくる方が急激に増えていると多くのメディアが報じています。実際、この4年間で観光客の人数は5倍に増え、また今年7月1日の個人ビザ発給開始が増加に拍車をかけることが見込まれています。

マスターピース・グループでは、コンタクトセンター事業部の中国拠点を活用し、そんな時代に合わせてサービスを提供しています。

中国語のコンタクトセンターの活用方法は多種多様です。

例えば、タクシーやバス、ナイトクルーズなどの予約受付センターであったり、デパートや家電量販店などショッピングに訪れた方へのタイムリーな通訳であったり。電話業務だけではなくホームページの作成やメール対応まで中国語を使った幅広いサービスの提供をしています。様々なシーンでご利用いただける。今、最も熱いサービスとなっています。

■文責:コンタクトセンター 事業部



中国アウトソーシング事情

中国国内発!MPGが中国のアウトソーシング関連NEWSを毎日発信しています!

《6月の主なNEWS》

2009/6/2

中国: 支援政策をさらに打ち出し、サービスアウトソーシング産業の発展を促進

2009/6/12

大連: ソフトウェアとアウトソーシングサービスで世界的なリーダー都市に

2009/6/25

北京: 「アウトソーシングサービス」産業の収入が全国トップ

●中国アウトソーシング事情

(<http://www.m-piece.com.cn/>)

編集後記

発行担当佐藤です。いつもご愛読いただき誠にありがとうございます。

7月号より担当が野沢から私、佐藤にかかりました。

ご愛読いただいている皆様は少しも驚きや新たな発見をしていただけるよう毎月努力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。